


令和4年度 基本評価調書①		所管部局	農政部	所管課	食品政策課		
施策名	海外への道産農畜産物の販路拡大			施策コード	0610		
政策体系(中項目)	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展			政策体系コード	2(5)A		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略					事務事業数	2
SDGs				総合判定	遅れている		
予算額(千円)	R 4	1,139,867	R 3	729,158	R 2	744,799	

施策目標	国外への道産農畜産物の販路拡大を図る。					
現状と課題	農家戸数の減少や国際化の進展などにより、農業経営をとりまく環境が厳しさを増す中、農業・農村の所得の確保や雇用の安定に向けて、農林水産物・加工食品の輸出などへの関心が高まっている。					
前年度二次評価意見	北海道ブランドを維持し、戦略的に活用するための情報発信や、海外に営業拠点を持つ民間事業者と連携したプロモーション活動及びECサイトを活用した販売支援を行うことは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。 また、食の輸出拡大戦略推進本部により連携し、道産食品の国際競争力強化の取組の一層の推進を検討すること。	対応状況 (R4.3時点)	輸出拡大の推進のため、商談会や販売会を通して、販路開拓に取り組むことにより取引実績の増加につなげていくとともに、経済部や水産林務部と連携しながら、事業内容を広く周知し、認知度の向上を図る。			

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	海外への販路拡大に向けた道産農畜産物・農産加工品のPR、セミナーなどを実施するほか、産地の輸出体制の整備を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・経済部や水産林務部と連携しながら、海外現地企業の協力を得て商談会の回数を増加し、PRの強化を図った。 (R2:4回→R3:10回) ・北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会にて連携し、国内の商談会に出展して海外バイヤー等へのPRを行った。 (R2:35件、R3:97件) ・グローバル産地づくり支援事業により、産地の輸出体制の構築を支援した。 (R2:6件、R3:6件) ・輸出施設等整備事業により、輸出先国の規制に対応した施設整備を行った。 (R2:13件、R3:5件)

連携状況	道産農畜産物の輸出拡大を図るため、北海道・ホクレン・ぎょれん等で構成する「北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会」にて連携し、輸出EXPO (R3.11.17~19)への出展等により効果的なPRを行うことができた。
緊急性優先性	国に対し、大きな需要が見込まれる中国など輸出相手国における輸入条件等の緩和に向けた国家間交渉の推進や予算確保などの要望を実施している。 また、輸出に積極的に取り組んでいる生産者、生産者団体、貿易会社等を訪問し、輸出の実績や、輸出相手国の規制やニーズへの対応、流通網の構築などの課題等の聞き取りを実施し、課題等の解決に向け必要な取組の効果的な推進を図った。

令和4年度 基本評価調書②	施策名	海外への道産農畜産物の販路拡大	施策コード	0610
---------------	-----	-----------------	-------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	億円	H30年	R元年	R2年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
道産食品輸出額（暦年）		目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	61.8%	D
		実績値	1,182	1,043	927			
設定理由	道内港を通じ海外へ輸出された道産食品の通関額及び道外港を通じ輸出された道産食品の通関額の推計値を、経済部と共有する指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>農畜産物については、北海道・ホクレン・ぎょれん等で構成する「北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会」にて連携し、輸出EXPO（R3.11.17～19）への出展等により効果的なPRなどを行った。</p> <p>道産食品全体の輸出額は前年比11.1%減となった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食需要の減少に伴い、輸出単価が低下し、主要輸出先である中国への輸出額が減少したことが挙げられる。</p>								

指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	D	総合判定	遅れている
------	---	------------	---	------	---	------	-------

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた 対応方針	①	道産食品輸出額減少の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に起因する主要輸出先である中国への輸出額減少と考えられることから、食の輸出拡大戦略推進本部にて連携し、海外現地企業の協力を得ながら、北海道のブランド力を高める情報発信や、商談会を中心としたプロモーション、ECサイトを活用した販売支援を一層強化することにより、新規商流の確立を目指す。
	②	
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	海外への道産農畜産物の販路拡大	施策コード	0610
---------------	-----	-----------------	-------	------

<二次政策評価>

R4年度 二次政策 評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大のため、農林水産物・加工食品の販路拡大が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------------------	---

二次政策 評価への 対応	ゼロコロナ政策による現地規制等の影響を受けた中国をはじめ、現地事務所等と連携し商談を強化し、確実な販路拡大を図る。		
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	・一層の輸出拡大を推進するため、実施手法の見直しや商談会を中心としたプロモーションを行うほか、現地企業との連携強化により効果的な取組を進め、新規商流の確立や既存商流の拡大を目指す。また、食の輸出拡大戦略推進本部構成員と連携して事業内容を広く周知するなど、効果的な事業推進に努める。	
	②		
	③		
R5新規事業数			

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	海外への道産農畜産物の販路拡大	施策コード	0610
-----------------------	-----	-----------------	-------	-------------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度方向性	二次評価意見への対応状況	
								うち一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応方針番号				方向性
0301	0603	一般	道産農畜産物輸出総合対策事業費	・輸出に取り組もうとする産地への支援や、生産者団体との合同PR、品目別のテスト輸出など、総合的な取組を実施	食品政策課		1,139,867	20,570	4.5	2.0	6.5	1,190,463	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】※基本評価調書③<二次政策評価>参照	改善	・ゼロコロナ政策による現地規制等の影響を受けた中国をはじめ、現地事務所等と連携し商談を強化し、確実な販路拡大を図る。
0317	0603 0605	事務	食品政策課総合調整等業務	・道議会事務、予算・決算事務、職員の服務・研修などの事務	食品政策課				1.9	3.5	5.4	42,034					
計							0	1,139,867	20,570	6.4	5.5	11.9					